

## よこはまポジティブエイジング事業 キックオフイベント開催報告

### ～会場に溢れた関心と意欲、よこはまポジティブエイジング事業が今年もキックオフ～

9月4日に横浜三塔の一つ、「ジャック」で知られる横浜市開港記念会館に、よこはまポジティブエイジング事業のキックオフイベントを開催しました。200名を超える申込みがあり、当日は市内全域から120名を超える参加者が集まりました。



2040年には3人に1人が高齢者になる時代。シニア世代の新たな社会参加のきっかけをつくる本事業は、地域包括ケアシステムの深化と推進を目的として、本人のやりがいに着目し、地域団体や民間企業での活動を通して、シニアの健康づくり、生きがい、仲間づくり、フレイル予防に寄与するプログラムです。

イベントでは、人材育成、越境学習、パラレルキャリアを専門とする法政大学大学院政策創造研究科の石山恒貴先生から、「アクティブシニアが活躍するこれからの社会」というテーマで講演いただきました。



石山先生によると、48.3歳以降、幸福感情が高まるエイジングパラドックスが起こり、例えば、会社などのしがらみから解放され、限られた年齢の中でより幸せを追求しようと思うようになるそうです。また、仕事や家庭中心のセカンドエイジに対して、自分のやりたいことを追求できるサードエイジは、地域や社会に貢献することに関心が向くなど、人生の意義を追求するといった意識や行動の変容が起こる時期でもあります。

講演では、自分が属する組織に貢献するといった「大きな物語」に対して、個人のやりたいことを起点に地域の取組みに参加していく「小さな物語」として、各地で活動している方の具体的な事例を紹介いただきました。

実施後のアンケートでは、参加者の半数を超える方からの回答がありました。「これからの自分の活動の後押しをしてもらえた」「活動に参加し、自分のサードプレイスの幅を広げたいと思いました」「就労にこだわっていましたが、社会との関わり方にいろいろな手段があることがわかりました。」「これからの人生について漠然としていましたが、入り口に立てたような気がしました。」といった感想が寄せられ、みなさんの関心や意欲の高さを感じたキックオフイベントでした。